

土砂災害に係るコミュニティタイムラインの作成について

河内長野市

◆経緯

本市には、大阪府内の土砂災害計画区域のうち約20%が存在し、市民への災害リスクの示し方、理解度の向上を推進することで避難の重要性を伝えることが課題である。このようなことから、令和4年度より「3D都市モデルを活用した災害リスク・避難路可視化等のユースケース開発」により、3Dハザードマップ等を用いた危険性の周知やワークショップによる過去の災害情報や教訓をもとに1地区のコミュニティタイムライン策定、今後も毎年2地区ずつの作成を予定している。

◆内容

【1回目のワークショップ】

地区役員の方に集まっていただき、講師による「土砂災害の犠牲者ゼロを目指すコミュニティタイムラインとマイタイムラインの作り方」「鳩原地区 土砂災害勉強会」講演終了後、ワークショップで意見を出し合い、役員以外の住民へもアンケートを実施。

【2回目のワークショップ】

1回目のワークショップとアンケート結果の内容確認と、3Dマップやデジタル田園都市国家構想で整備した公開型GIS（別紙参照）を用い、リスクを確認したうえでコミュニティタイムラインを完成させた。

◆効果

3Dマップや赤色立体地図により、地形の高低差（崖地や沢筋、谷筋等樹木等に隠れた部分も含む）を可視化することで、土砂災害の危険度や想定される浸水被害を具体的にイメージしてもらったことにより、事前避難の重要性を認知してもらった。また、作成したタイムラインの表に「マイ・タイムライン」の欄を作り、事前の準備や避難のタイミングについて住民一人ひとりがどのように、行動するべきかを考えていただく機会になった。

ワークショップの様子 河内長野市



土砂災害に係るコミュニティタイムラインの作成について

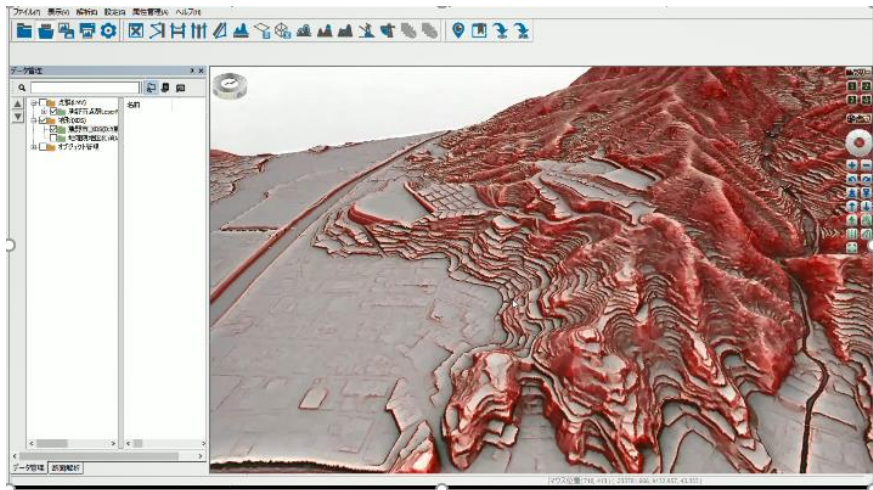
河内長野市

時系列	気象情報と避難情報		鳩原地区コミュニティタイムライン		マイタイムライン		
			地域や各家庭で取り組むこと		我が家の決まり事を書いておこう		
1週間前	<ul style="list-style-type: none"> ○台風が発生し、いつ頃影響が出るかが分かるころです。 ○影響がありそうなら、準備を始めましょう。 ○今のところ影響はなさそうでも今後の気象情報に注意しておきましょう 		<ul style="list-style-type: none"> □ 地域の電線にかかる木の枝の伐採は各事業者（関西電力、NTT等）へ連絡する □ 崩れかけている斜面などは市役所へ連絡する □ 近所の人と「台風のことを知っているか」、「被害が出そうか」話す □ 避難に支援が必要な方の状況を確認しておく 		<ul style="list-style-type: none"> □ 台風の進路などの情報を確認 □ 食べ物や飲み物、電池の買い置きを確認 		
	<ul style="list-style-type: none"> ○天気予報などから、台風などの影響があるかが分かってきます。 ○「避難するなら」と考えて、準備を始めましょう 		<ul style="list-style-type: none"> □ 各組長から大雨、強風への注意を呼びかける □ 避難することを前提に、交通手段を近所の人と話しておく □ 地域の周りの溝をきれいにしておく 		<ul style="list-style-type: none"> □ 台風情報を見ておく □ 家の周りを点検し、風で飛んでいきそうなものを片付ける □ 家の周りの溝をきれいにしておく □ 買い物に行って、買い置きの補充をしておく（3日～7日分） □ 避難するときに着ていくものの準備（季節に合わせた防寒着や暑さ対策グッズ等） □ 避難所に持って行くものをカバン一つにまとめておく（おくすりも） 		
前日	<ul style="list-style-type: none"> ○気象台がニュースなどで発表するレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ○左のレベルに応じて市が情報を発信します。放送、HP、SNS、災害テレホン案内、テレビなど 	<ul style="list-style-type: none"> □ どうやって避難所へ行くか、バスや近所の人と車に乗り合わせてなどを決めておく □ 地区長、副地区長、近所の方に避難先などを知らせる □ 避難される方の情報を共有しておく □ 知人に安全か大丈夫かなどを連絡する 		<ul style="list-style-type: none"> □ 台風情報を見ていつ雨が降るのか、風が強まるのか確認 □ 台風情報をこまめに確認し避難などの行動を準備 □ 親戚宅へ避難することを地域の人に伝える □ 家族等へ事前に決めておいた連絡をする 		
	レベル2						
当日	レベル3	高齢者等避難	<ul style="list-style-type: none"> □ 開設されている避難所を災害テレホン案内で確認(TEL0120-047-714) □ 近所の避難される方の安否確認 □ 近所の方と電話で情報交換 		<ul style="list-style-type: none"> □ 明るいうちや、雨や風がひどくなる前に避難所に行く 		
	レベル4	避難指示			<ul style="list-style-type: none"> □ 速やかに避難する □ 避難所から家族などに避難を完了したことを連絡 		
	レベル5	緊急対応	<ul style="list-style-type: none"> □ 避難を完了する □ 地域の連絡網を活用し、避難し遅れている人がいないか確認 		<ul style="list-style-type: none"> □ 避難を完了する □ 避難が困難になってしまった時は斜面から離れた2階の部屋など家の中でも安全な場所に避難 		

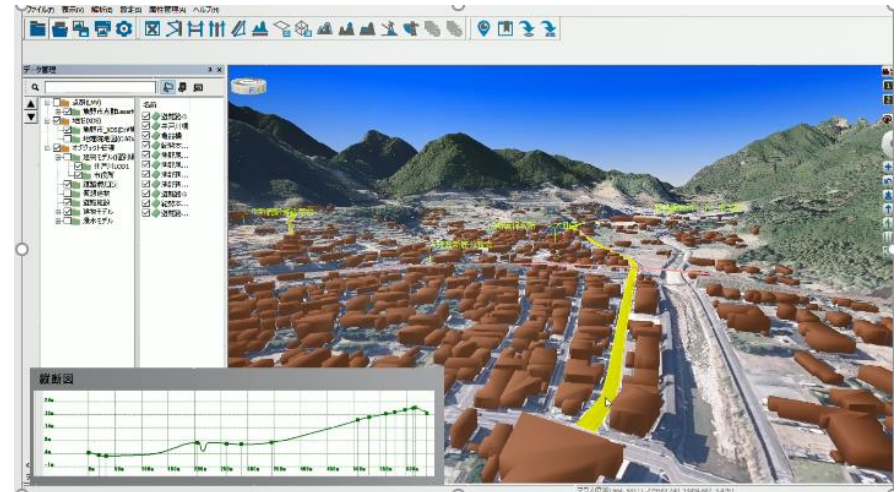
土砂災害に係るコミュニティタイムラインの作成について（別紙）

河内長野市

◆ 3Dマップ

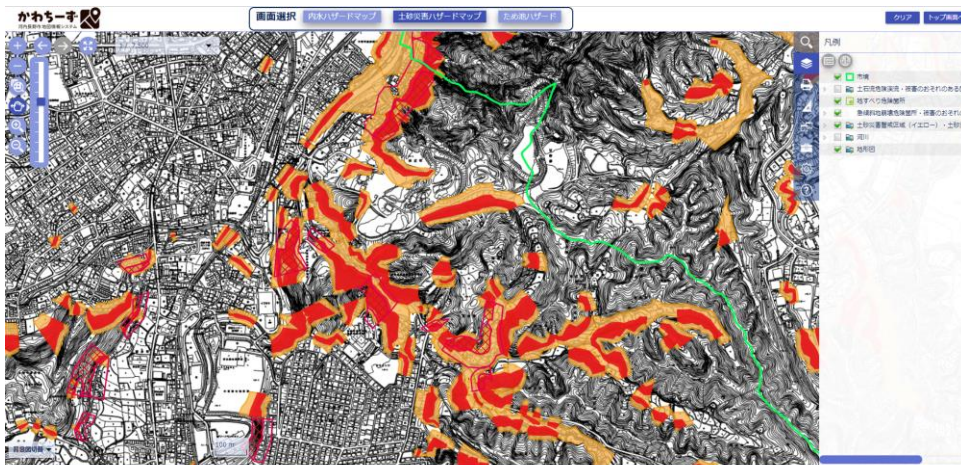


国土地理院や大阪府のLPデータにより地形が詳細にわかる



避難経路の高低差を確認できる

◆ 河内長野市公開型GIS 『かわちーず』



土砂災害警戒区域等が地図上で確認できる

<https://webgis.alandis.jp/kawachinagano27/portal/main/>